学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 理科

科目名 ：	生物	単位数 ： 3 単位	必要スクーリング出席回数： 12 回
使用教科書 ：：改訂版 生物 （数研出版）			
学習書 ・副読本 ：：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	9 枚	3 枚	3 枚	3 枚
スクーリング [S]	24 回	9 回	8 回	7 回
テスト [T]	2 回	○	×	○
その他 （課題・実習等）				

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

生物は、生物基礎の内容をさらに深めたことを学習します。スクーリングの際に、内容をまとめたプリントを配布しますので、そのプリントや教科書をよく読むと、レポートは完成できます。テストは主にレポートから出題します。なお、医療・看護系への進学を考えている人は、できるだけ受講することをおすすめします。（生物基礎を履修してから受講できます）

2 学習の到達目標

生物や生物現象に対する基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養うこと。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：観察・実験の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	生物や生物現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を化学的に探究する技術を身に付けている。	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・記述の点検（レポート）	・記述の点検（レポート）	・観察（スクーリング） ・記述の点検（レポート）	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査

・年度末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学 習 内 容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1範囲	生命現象と物質	・細胞と分子 ・代謝 ・遺伝情報の発現	○	○	○	○	a：生命現象と物質に興味関心を持ち、主体的に探究しようとする。 ｂ：生命現象と物質に関する科学的な事物現象について、科学的に考察し、表現している。 ｃ：生命現象と物質に関する実験などを行い、科学的に探究する技術を身につける。 ｄ：生命現象と物質に関する基本的な概念や原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	・定期考査 ・レポート
2範囲	生殖と発生・生物の環境応答	・生殖と発生 ・動物の反応と行動 ・植物の環境応答	○	○		○	a：生殖と発生、生物の環境応答に興味関心を持ち、主体的に探究しようとする。 ｂ：生殖と発生、生物の環境応答に関する科学的な事物現象について科学的に考察し、表現している。 ｄ：生殖と発生、生物の環境応答に関する基本的な概念や原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	・レポート
3範囲	生態と環境・生物の進化と系統	・生物群集と生態系 ・生命の起源と進化 ・生物の系統	○	○		○	a：生態と環境、生物の進化と系統に興味関心を持ち、主体的に探究しようとする ｂ：生態と環境、生物の進化と系統関する科学的な事物現象について科学的に考察し、表現している。 ｄ：生態と環境、生物の進化と系統に関する基本的な概念や原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。	・定期考査 ・レポート

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：観察・実験の技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。